北海道デイサービスセンター協議会
令和2年度認知症対応型サービス事業管理者研修
カリキュラム

※受講生は事前にカリキュラムを確認してください。

○ 講義・演習：10.20時間（620分）

1日目／時間	科目	目的	内容
13:50～14:00 （10分）	オリエンテーション	管理者研修の目的は、地域密着型サービス事業所の管理者として、統括的な管理・運営と支援のあり方について学び、実践ができるようになること。研修の全体スケジュールを説明し、加えて研修の機会を全体的、積極的に情報交換・ネットワークづくりの場として活用することの意義を認識する。	○ 研修の目的、目標の明示 ○ 自己課題の設定 ○ 研修の機会を主体的、積極的に自己学習の場として活用する意義
14:00～15:30 （90分）	介護従事者に対する労務管理について	労働基準法の規定に基づき、適切な介護従事者の労務管理について理解する。	○ 職員の人事・労務管理の重要性 ○ 労働基準法に基づいた労務管理 ○ 宿直と夜勤について ○ 労働時間と休憩について ○ 労務管理に関する質疑・応答
15:40～17:10 （90分）	地域密着型サービス基準について	適切な事業所運営を図るため、地域密着型サービスの目的や理念を理解する。適切な事業所管理を行うため、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護の各指定基準を理解する。	○ 地域密着型サービスの目的・地域密着型サービスの種類・特徴・運営基準・地域づくり・法令遵守・違反事例について

2日目／時間	科目	目的	内容
09:00～10:30 （90分）	地域密着型サービスの取組みについて	事業所からの実践報告を通じ、各事業のサービス提供のあり方について理解する。	○ 事業所からの報告 ○ 現状と課題、展望
10:40～12:00 （80分）	適切なサービス提供のあり方について①	管理者として、地域密着型サービスとは何か、また介護保険上の基本方針の意味を理解することにより、それぞれの役割や連携について、日常生活の支援等の具体的な場面を通して、その方向性やめざしているものを学ぶ。加えて、質を確保し向上させていくためには、どうすればいいか、現状及び今後の課題や目標を明らかにし、質の担保を推進していくために必要な統括的な管理運営のあり方について学ぶ。	○ 管理者の役割 ・業務管理 ・日常生活支援（ケアプランに沿った実践と記録） ○ 利用者の権利擁護 （尊厳・成年後見・身体拘束・虐待防止法等） ・リスクマネジメントの実際とその展開・サービス評価・情報公表制度等・人材育成の基本的な考え方とその方法・現状と課題と今後の展望。
12:00～13:00	昼休み		
13:00～17:10 （250分）	適切なサービス提供のあり方について②		
17:10～17:30 （20分）	研修のレビュー（振り返り）		